

令和3年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

<p>[めざす学校像]</p> <p>1 「質実剛健」にして「文武両道」に励む生徒を育てる学校 2 母校への誇りと地域への愛を持ち続ける生徒を育てる学校 3 「骨太の人格」を備え 21 世紀を支える人材をつくる学校</p>		<p>質実剛健：夢実現のため躊躇せず挑戦しへこたれず諦めず地道に努力する気質 文武両道：勉強にも部活動にも行事にも真剣に全力で取り組むこと 骨太の人格：基本がしっかりとっていて決してぶれない心と体</p>
<p>[生徒に育みたい力]</p> <p>○ 夢と志を語る力（社会に貢献する自分を想像する力／目標を具体的に語る力） ○ 努力し続ける力（全力で学び続ける力／貪欲に挑戦し続ける力） ○ 人権を尊重し人と繋がる力（仲間をつくる力／仲間を支える力／仲間を率いる力）</p>		
<p>[教職員に望む力]</p> <p>○ チームの一員として自らの役割を自覚し「生徒に育みたい力」を身につけさせる力（豊かな人間性・実践的な専門性・開かれた社会性）</p>		<p>夢：将来実現させたいと思い描いている願い 志：心に思い定めたある方向をめざす気持ち</p>

2 中期的目標

<p>1 「夢と志を語る力」の育成</p> <p>(1) 系統的進路指導（なりたい自分から逆算する指導／大学入試改革への対応） ⇒ 進路指導満足度をR5年度に90% (H30:80.5% R01:78.7% R02:78.9%)</p> <p>(2) 同窓会の人的資源活用のさらなる推進 (3) 大教大教職コンソーシアム事業への参加促進／有識者による講演の充実 (4) アドバンス教育コースの充実 (5) 進路実現満足度の向上 ⇒ 満足度80%以上をR5年度まで維持／その結果、国公立大現役進学者数をR5年度に70人(25%) (H30:53人 R01:62人 R02:73人)</p>
<p>2 「努力し続ける力」の育成</p> <p>(1) 高い部活動入部率の維持 ⇒ R5年度まで90%以上の維持 (H30:94.0% R01:91.4% R02:95.0%) (2) 課外学習時間の増加 ⇒ R5年度には2時間10分/人・日 (H30:1時間48分 R01:1時間40分 R02:1時間55分) (3) 学力生活実態調査2年10月時点成績の向上 ⇒ R5年度には45% (H30:41.7% R01:28.6% R02:40.1%)</p>
<p>3 「人権を尊重し人と繋がる力」の育成</p> <p>(1) 学校教育自己診断生徒会行事への積極的取組姿勢肯定率の向上 ⇒ R5年度まで90%以上の維持 (H30:92.8% R01:93.0% R02:94.8%) (2) 高い部活動入部率の維持 ⇒ R5年度まで90%以上の維持 (H30:94.0% R01:91.4% R02:95.0%) (3) 地域、学校園等関係機関と連携した活動の充実 (4) 人権教育・教育相談活動の充実といじめ防止</p>
<p>4 「チーム八尾高」を支える教員力の向上</p> <p>(1) 学校経営計画中期的目標を踏まえた目標設定（全教職員）と高い同僚性を基盤とした業務の推進 (2) 若手教員を育てるOJTの充実と教職員間のコミュニケーションのさらなる活性化 (3) 授業力向上のための取組みの充実で授業アンケート結果平均の向上 ⇒ R5年度には3.4 (H30:3.20 R01:3.26 R02:3.37) (4) 業務の効率化と時間の有効活用による超過勤務時間縮減と生徒に向き合う時間の拡充 (5) 大学入学者選抜改革に即応できる教員力の向上</p>

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和3年12月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>【生徒対象】</p> <p>○ 全37項目中31項目で肯定率向上／うち2項目で向上率20%超 ○ 人権教育肯定率が21%増の93.0% 〈コロナ禍でも外部講師とリモートで繋いで実施した人権研修が好影響〉 ○ 学習支援クラウドサービス活用の肯定率は約1.5倍の73.6% 〈延べ300件を超える活用〉 ○ 昨年度からの新規項目3項目中2項目で肯定率低下 〈防犯・防災関係はコロナ禍で避難訓練がリモートになったことが影響か〉 〈ホームページやブログ閲覧状況は学習支援クラウドサービスで機能代替の影響か〉 ○ 肯定率95%超は「部活動」97.0%と「学校行事」96.1% 授業や講習への評価も91.4%と初の90%超え 骨太な精神涵養の肯定率も過去最高の93.1% 〈めざす学校像「文武両道」「骨太な人材育成」へ前進を実感〉</p> <p>【保護者対象】</p> <p>○ 全36項目中25項目で肯定率向上／うち16項目で肯定率90%超 ○ 肯定率が向上した25項目はいずれも過去3年間で最高率 ○ 保護者満足度「八尾高校に進学させて良かった」が過去最高率97% ○ ホームページ・ブログ関連3項目はいずれも肯定率低下 ほとんど全ての連絡を学習支援クラウドサービスに切り替えている影響か ○ 施設・設備の項目は肯定率低下→トイレ等工事の影響か</p>	<p>第1回・5月（書面開催）</p> <p>○ 学校運営の基本方針（令和3年度学校経営計画）→承認 ○ 委員長及び副委員長選任</p> <p>第2回・令和3年10月25日（月）</p> <p>○ 安易に志望校を下げないという進路指導方針が大学進学率の向上に好影響を及ぼしている。今後もこの方針を継続してほしい ○ 多くの卒業生が社会で活躍していることは八尾高校卒業のメリット。広報の機会に中学生の保護者にも知ってもらうべき ○ 八尾高校は文武両道の学校。部活動の実技指導ができる教員を増やすべき</p> <p>第3回・令和4年2月14日（月）</p> <p>○ 令和4年度の学校経営方針について承認（全会一致） ○ ハイブリッド授業はコロナ禍中の学習保障対策として良い取組 ○ 私立高校のアピールポイントは施設や制服、行事などだが、八尾高校は独自の価値観でオンリーワンの学校になってほしい ○ 進学実績の高さが志願倍率の高さに繋がっているのではないかと ○ コロナ禍でも修学旅行を含む学校行事ができたのは、生徒のみならず保護者の理解と協力が奏功した結果ではないか</p>

<p>【教職員対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全 47 項目中 37 項目で肯定率向上／うち 13 項目で向上率 20%超 ○ 学校運営への教職員の意見反映の肯定率が過去最高の 80% ○ 校長のリーダーシップの肯定率が過去最高の 98.3% ○ 3 年間の進路指導体制確立の肯定率が過去最高の 91.7% 進路指導部主導体制への転換が教員間で高い評価を得ている ○ 生徒の授業態度に関する項目の肯定率が前年度比 22%増の 93.3% 授業アンケート結果平均が過去最高をマークしたこととリンク 保護者向け自己診断の関連項目も過去 3 年間比較で最高率 ○ 学習支援クラウドサービス活用肯定率は前年度比 49%増の 81.7% 学習支援クラウドサービス活用実績（1 月末時点）405 件 	
---	--

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標 [R2年度値]	自己評価
1 「夢と志を語る力」の育成	(1) 系統的な進路指導	(1) 教員の進路指導力の向上	(1) 学校教育自己診断(生徒)の「進路指導満足度」を 82%に[78.9%] 国公立大現役合格者数 67(23.9%) [73 (23.2%)] 進路指導力向上研修 3回[3回]	進路指導満足度 84.7%(◎) 国公立大現役合格者数 (53 人) 進路指導力向上研修 コロナ禍で 1 回減の 2 回 (一)
	(2) 進学指導・キャリア教育・部活動等における同窓生の人的資源の活用促進	(2) 「総合的な探究の時間」における探究活動や進学指導・キャリア教育にかかる場面、部活動指導において同窓会の人的資源を活用	(2) 八尾市役所等の同窓生と連携した探究活動を 3 部局以上で展開(新規) 同窓生の協力を得て進路ガイドブック受験体験記の WEB アップ(新規) 2 クラブ以上で同窓生を活用した部活動支援を展開(新規)	市役所等と連携 7 か所(◎) 受験体験記 WEB アップ (○) 同窓生生活の部活動支援 4 クラブ(◎) (硬式野球部、軟式野球部) バドミントン部 ソフトボール部
	(3) アドバンス教育コース改革と大教大教職コンソーシアム事業への参加者数拡充	(3) アドバンス教育コース改革を検討教職をめざす生徒に対して府立高校教職コンソーシアム事業に参加することのメリットについて周知徹底	(3) アドバンス教育コース改革のための検討組織を立ち上げ R3 年末までに結論を出す 府立高校教職コンソーシアム事業参加生徒数の増加[26 人]	コロナ禍の影響で検討組織立ち上げできず (一) 府立高校教職コンソーシアム事業参加生徒数 60 人(◎)
	(4) 進路実現満足度の向上	(4) 講習の充実と教員の進路指導力向上	(4) 進路実現満足度 80%以上の維持 [80.1%]	進路実現満足度 80.1%(○)
2 「学力・生活力」の育成	(1) 高い部活動入部率の維持	(1) 部活動体験 Week の新設/学校説明会における部員の活用/地域 FM を通じた部活動紹介の継続	(1) 入部率 90%以上の維持 [95%]	入部率 94.4%(○)
	(2) 課外学習時間の増加	(2) 学習時間の記録と目標学習時間の設定により学習の習慣化を図る	(2) 学力生活実態調査による課外学習時間平均 2 時間以上 [1 時間 55 分]	課外学習時間平均 1 時間 54 分(△)
	(3) 学力生活実態調査 2 年 10 月時点成績の向上	(3) 具体的な進路目標を早期に定めるための進路指導の充実/部活動と教科学習をバランスよく進めるための学級指導の充実	(3) 学力生活実態調査 2 年 10 月時点成績の A 区分以上の生徒数を 45%に [40.1%]	2 年 4 月成績 A 区分 66.7%(一) ※ コロナの影響で 10 月の調査を取りやめたため 4 月の調査結果で比較

府立八尾高等学校

<p>3 「人権を尊重し人と繋がる力」の育成</p>	<p>(1) 主要学校行事満足度の向上 (2) 高い部活動入部率の維持 (3) 地域、学校園等関係機関と連携した活動の充実 (4) 人権教育・教育相談活動の充実といじめ防止対策の充実</p>	<p>(1) 生徒主体の主要学校行事（文化祭・体育祭等）企画・運営をより一層推進 (2) 2(1)に同じ (3) 地域や近隣学校園との連携促進 (4) 人権教育の充実／教育相談係会の機能強化（個別の支援計画の作成主体として学年と連携）／いじめ防止委員会の定例開催と迅速正確な事象対応</p>	<p>(1) 学校教育自己診断（生徒）の「生徒会行事積極的取組姿勢肯定率」90%以上を維持 [94.8%] (2) 2(1)に同じ (3) 地域、学校園等関係機関との連携事業実施回数 30 回以上 [15 回] (4) 学校教育自己診断（生徒）「人権教育肯定率」80%以上[77.0%]／学校教育自己診断（生徒）「いじめ対策満足度」85%以上の維持[86.3%]</p>	<p>生徒会行事積極的取組姿勢肯定率 96.1%(◎) 入部率 94.4%(○) 地域学校園等との連携 25 回(一) ※ コロナ影響で部活動の連携場面減 人権教育肯定率 93.0%(◎) いじめ対策満足度 89.3%(◎)</p>
<p>4 「チーム八尾高」を支える教員力の向上</p>	<p>(1) 建設的意見を組織として具体化する同僚性の高い教職員集団の形成 (2) 授業力向上のための取組みの充実 (3) 業務の効率化と時間の有効活用による超過勤務時間縮減と生徒に向き合う時間の拡充 (4) 同窓会や報道機関と連携した戦略的広報活動の展開</p>	<p>(1) 校長通信「雑感」をツールとした情報共有と意見集約さらには意思決定過程の見える化で、チームとして課題解決にあたる経験を共有（新カリの策定／観点別評価／ICT 活用促進） (2) 授業動画を活用した WEB 授業力向上研修／学習支援クラウドサービスや Web 会議システムを活用した授業に関する研修の実施／工夫のある授業等を校長通信「雑感」で紹介 (3) 一斉退庁日の遵守と部活動ガイドラインに基づく部活動指導業務の管理 (4) ホームページのさらなる魅力化と JR 八尾駅経由で通学する生徒の取り込み／卒業生や保護者の協力を得た学校広報活動の展開</p>	<p>(1) 学校教育自己診断（教職員）の「学校運営への教員の意見反映」肯定率を 80%に[75%] 学校教育自己診断（教職員）の「校長の考え方明示」肯定率 90%以上維持 [93%] 学校教育自己診断（教職員）の「校長のリーダーシップ発揮」肯定率 90%以上維持[93%] (2) 授業アンケート結果平均の向上 [3.37] (3) 超過勤務時間を前年度比5%縮減 (R2:11%縮減) (4) 志願倍率の上昇(R3年度選抜:1.25)</p>	<p>学校運営への教員の意見反映肯定率 80%(○) 校長の考え方明示肯定率 98.3%(◎) 校長のリーダーシップ肯定率 98.3%(◎) 授業アンケート結果平均 3.42(◎) 超過勤務時間縮減率 2.5% (△) 志願倍率 1.25 倍 (○)</p>